

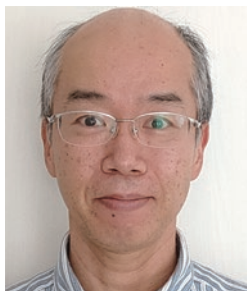
大阪大学せんばアカデミー 「世界への窓：ドイツ語からみるヨーロッパ」

● 定員 45名 ● 場所 船場生涯学習センター 5階 多目的室1 ● 持ち物 筆記用具

【講師】大阪大学大学院人文学研究科・外国語学部
ドイツ語専攻 教員



副学長・教授
進藤修一(第1回)



教授
中川裕之(第2回)



准教授
北岡志織(第3回)

受講料

★全3回通しでの受講料 3,000円
※申込締切：9月18日(木) **募集終了**

- ・申し込みの際に「全講座受講」とお申し出ください。
- ・初回講座受付時に一括支払い。一旦支払われた受講料は返金できませんのでご了承ください。

**全講義・個別受講共に
定員に達したため募集終了しました**

【個別受講に関して】

※個別受講申込開始：9月19日(金)～(先着順)

- ・1講座ずつの個別受講可(受講料：1講座につき1,600円)。
- ・全講座受講の申込者で定員に達した場合、個別受講の申込みはございません。
- ・本講座は連続講座を前提としています。予めご了承ください。

回	日 時	内 容
1	10月16日(木)	ヨーロッパのなかの「ドイツ」 ドイツ語はドイツをはじめスイスやオーストリア、そしてルクセンブルクやベルギー、イタリアの一部でも使用されています。また、ドイツ語はさまざまな観点からヨーロッパのあり方に大きな影響を与えてきました。本講義では、ドイツ語が話されている地域の政治、文化、社会を概観し、この言語がヨーロッパにおいて持つ意味を探ります。
2	10月23日(木) 午後2時 ～午後3時30分	山国スイスの自然とくらし スイスはドイツの隣国で人口の約60%がドイツ語を使います。マッターホルンをはじめとするけわしい岩峰のほかに、おだやかなハイキング道がふんだんにあり、老いも若きも闊歩しています。雪崩や土砂崩れ。時に自然が牙をむき人命を脅かすことを承知の上で暮らす人々。自然への畏怖。われわれとの共通点。身近な里山を愛する質面人におすすめの道も、注意点とともに紹介します。
3	10月30日(木)	現代ドイツ演劇界と難民問題 ヨーロッパ外から流入する難民といかに向き合うべきかーこの問いは、近年のドイツにおいて政治だけでなく、芸術の分野においても重要なテーマとして取り上げられてきました。本講義では、ドイツ演劇界の主流を担う公共劇場が、新たな「他者」としての難民とどのように向き合い、またその問題を演劇作品の中でどのように表そうとしてきたのかを、具体的な作品を参照しながら概観します。

開催場所【船場生涯学習センター】

〒562-0035 箕面市船場東3-10-1

TEL：072-730-5333 / mail：senba@minoh-bunka.com

開館時間：午前9時から午後10時まで

休館日：月曜日(休日を除く。)

交通：◆ 北大阪急行電鉄「箕面船場阪大前駅」下車すぐ
◆ 阪急バス「新船場北橋」「新船場南橋」「箕面船場阪大前駅」または、「船場団地」下車(箕面、千里中央等各方面から)

※ 車などでお越しの場合は箕面船場駐車場(自動車116台、自動二輪車86台/有料)・箕面船場第一駐輪場(自転車950台、原付495台/有料)をご利用ください。

